

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成 30 年 5 月号

編 集 武田 隆久
 発 行 人 一般社団法人 日本病院会 通信教育課
 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
 TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
 FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
 URL <http://www.jha-e.com/>
 受付時間 9:00~17:00
 (ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
 発 行 日 毎月 1 日
 定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
 郵便振替 00190-5-396045
 名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士の役割の変遷と期待

松本 万夫

東松山医師会病院 院長
 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科 教授

診療情報管理士の役割については、日本病院会の通信教育募集要項に“医療機関における患者の様々な診療情報を中心に人の健康 (health) に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析し、様々なニーズに適した情報を提供する専門職種で、日本病院会通信教育および日本病院会認定専門学校、大学にて統一されたカリキュラムで養成されており、四病院団体協議会 (日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会) および医療研修推進財団の共同で認定された資格”と記載されています。

すなわち、四病院団体協議会と医療研修推進財団という組織の国が関与しない認定資格なのです。国家資格となればそれぞれの職場における法的必須人材として重用されるのですが、診療情報管理士は違います。それは医師の学会認定専門医に類似しています。新専門医制度が発足した現在でも、実際の専門医は学会認定専門医が自他ともに認められ専門的分野を担って活動していることで、日本の医療が円滑に行われている事実があります。専門医は国家資格ではありませんが、程度の差こそあれその分野の専門的知識と技量が社会的に保障されているものです。

診療情報管理士は、医療事務や医療関連の専門的知識を基礎に患者診療により発生する情報の管理法に熟知し、医療安全管理や病院経営管理に寄与する高い専門性とスキルを必要とする職種となるべきものです。実際に診療報酬上、診療録管理体制加算が導入されており、病院機能評価や診療報酬支払制度 (DPC/PDPS (診断群分類別包括支払制度))、がん登録推進法、医療事故調査制度など診療情報管理士が関係すべき重要な制度も多くなってきています。

診療情報管理士の有資格者に対する社会的期待は大きく、それを取る意義はまさに大きいと思われるます。そして、診療情報管理士がこのような職務を遂行すべき十分な資質を有していることが、また期待されます。資格取得に要した知識だけにとどまらず、自らそれを発展させる努力に期待するものです。

本通信教育の内容は、従来の診療録管理上の基礎的知識の整理と、将来必要となる可能性のある知識を取り入れるべく、適宜改訂されてきています。特にこの数年で大きく変貌してきたのは、国際疾病分類 (ICD-10 から 11 へ) の改訂と、国際医療行為分類 (ICHI)、国際生活機能分類 (ICF) の実医療への導入推進にあります。学ぶべきことがますます増加し、多様化しています。そして、これら分類の導入自体にも診療情報管理士の皆さんの協力が必須となっています。また、導入後これら分類から得られるデータ収集、整理、活用の推進者としての診療情報管理士への期待はますます大きくなります。

診療情報管理士の資格を目指す皆様に敬意を表するとともに、試験合格後には我々とともに様々な場面で頑張っていただきたく思います。それが、診療情報管理士の資格が社会的に認められることだけでなく、本邦の医療がさらに前進するための”力”となると確信します。

